

練習 1 while を使ってみよう。

```
i=1
while i<4:
    print(i)
    i=i+1
print("成功")
```

・ while i<4 は i が 1 からスタートとし
4 未満の間はずっと繰り返すという意味

☆while の後に print 文を入れる場合などは字下げ(tab キー)が必要です。
字下げで while 文の中にあるという意味になります。

字下げなし

```
while i<4:
print(i)
```

字下げあり

```
while i<4:
    print(i)
```

ちなみに練習 1 を for 文で書くと



```
for i in range (1,4):
    print(i)
```

☆繰り返し構文には for と while がある

構文	使い分け
for	繰り返しの回数が予測できる場合（繰り返す回数が決まっている）
while	繰り返しの回数が予測できず、条件を満たしている間 処理を繰り返したい場合 例) ランダムにならんだ数字から 20 を見つけるまで繰り返す (回数予測不能)

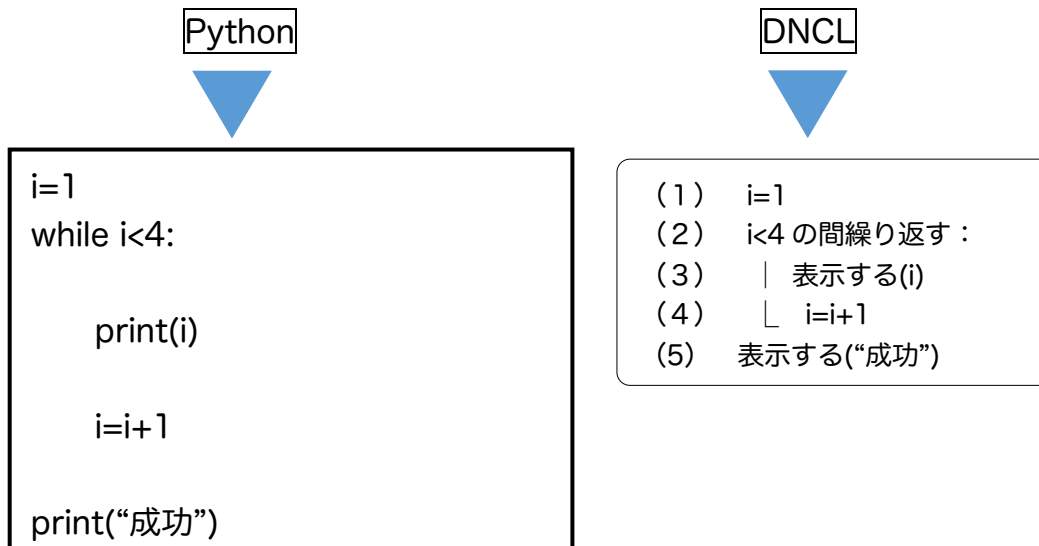
●繰り返しでよく出てくる比較演算子

python		DNCL
==	等しい	==
!=	等しくない	!=
>	大なり	>
>=	以上	>=
<	小なり	<
<=	以下	<=

●繰り返しでよく出てくる論理演算子

python		DNCL
and	かつ	and
or	または	Or
not	～ではない	not

重要 Python と DNCL の比較

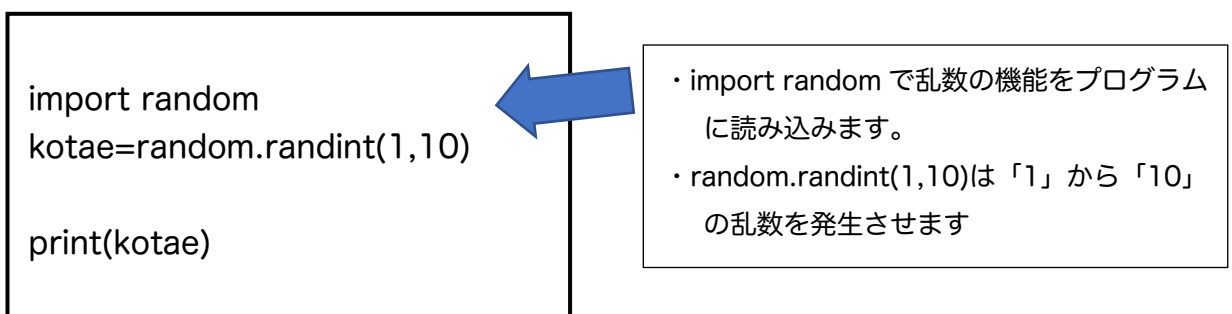


●確認できたらプログラミングのエッセンス→P.6,P.7

終わり次第共通テスト問題集→P.82,P.83

実習 問題集 P.84 の数当てゲームを作ってみよう

手順 1 乱数を発生させます。



手順2 解答を設定しよう。

```
import random
kotae=random.randint(1,10)

a=input("数字は？")
kai=int(a)

if kai== kotae:
    |print("あたなの勝ち")

else:
    |print("違う")
```

・print は全て if 文の中に入れる
ので字下げします

☆今のままでは一度しか回答できません！そこで何度か解答できるようにします

手順3 回答が何回でもできるように設定しよう。

```
import random
kotae=random.randint(1,10)

flag=1
i=0

while flag==1:
    |i=i+1
    |a=input("数字は？")
    |kai=int(a)

    |if kai== kotae:
    |    |flag=0
    |    |print("あなたの勝ち")

    |elif i>=10:
    |    |flag=0:
    |    |print("あなたの負け")

    |else:
    |    |print("違う")
```

・ while から次の文は全て while
文の中に入れるので字下げし
ます